

## 地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

## 1．事業の概要

鳩山総理が、中期目標の達成のために国内排出量取引制度の導入等を表明されたことを受け、キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の制度設計の具体化が急務となっている。

その際、自主参加型国内排出量取引制度（以下「J V E T S」という。）の着実かつ円滑な運営等により、経験・知見の更なる蓄積を図り、本格制度の検討に活かす。

## 2．事業計画

キャップ・アンド・トレードの具体的な制度設計については、下記の経験・知見も踏まえつつ、また、海外制度の情報収集・分析等を行いながら、排出枠の設定方法等の諸論点の詳細検討を行う。さらに、諸外国との連携や海外への情報発信等を行う。

工場・事業場における温室効果ガス排出削減のアドバイスを行う「温暖化対策診断」等のソフト面での支援策を新たに導入し、費用効率的な排出削減ポテンシャルの徹底的な掘り起こしを行うとともに、第三者検証や検証機関の能力育成を支援する。

J V E T S については、第 4 期の実施年度排出量検証及び排出枠償却、第 5 期の排出削減実施、第 6 期の設備整備と基準年排出量の検証に加え、排出量のモニタリング・算定、検証の方法論改善等により、検証の効率化等を図る。

- ( J V E T S 運営のため本事業の一部として「温室効果ガスの自主削減目標設定に係る設備補助事業」を実施。100 百万円 × 36 件、補助率 1/3 )

## 3．施策の効果

J V E T S の運営等を通じ更なる経験・知見の蓄積を図りつつ、キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の制度設計を具体化する。J V E T S により、特に中小規模工場・事業場において費用効率的かつ確実な削減を実現する。

# 国内排出量取引推進事業

## 国内排出量取引制度の本格導入の表明

鳩山総理が、中期目標の達成のために国内排出量取引制度の導入等を表明。これを受け、キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の具体的な制度設計が急務。

## 国内排出量取引推進事業の展開

### 【1. キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の制度設計の詳細検討】

- ・自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)の成果等も踏まえつつ、海外制度の情報収集・分析等も行いながら、制度設計の詳細な検討
- ・諸外国との積極的な連携・情報発信

### 【2. 温室効果ガス削減ポテンシャル診断支援・第三者検証支援】

- ・工場・事業場における温室効果ガス排出削減のアドバイスを行い、国内における費用効率的な排出削減ポテンシャルの徹底的な掘り起こしを実施
- ・第三者検証や検証機関の能力育成を支援

### 【3. JVETSの運用】

- ・排出削減設備の導入支援
- ・排出量のモニタリング・算定、検証の方法論改善等による、検証の効率化等

## キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の具体化

キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の早期導入のため、本事業を通じ更なる経験・知見の蓄積も図りつつ、制度設計を具体化。